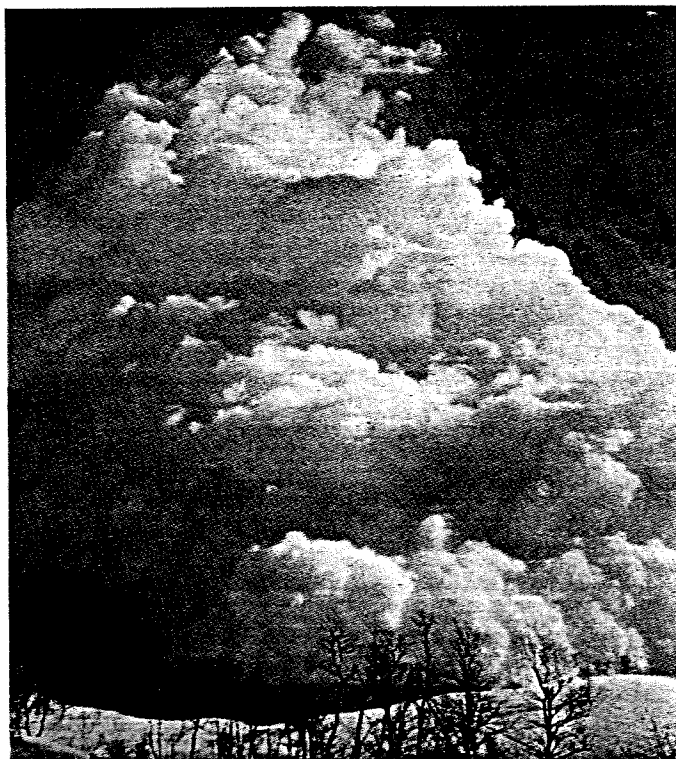


雪崩分科会レター

No. 11 (1992年10月)

日本雪氷学会雪崩分科会



ノルウェー・リグフォーンでの煙型雪崩

- P 1 雪崩分科会例会の御案内
- P 2 1992年度日本雪氷学会全国大会の雪崩関係の発表
- P 3 第3回雪崩対策の基礎技術研修会の報告
- P 4 研修会参加者名簿
- P 5 日本雪氷学会雪崩分科会入会の案内

<事務局>

富山大学理学部 川田邦夫 気付

1992年度日本雪氷学会全国大会の雪崩関係の発表

10月21日(水)(口頭発表) 午後部(13時~15時)

<第2会場>

雪崩(座長 藤沢和範) 13時~14時15分

- | | | |
|------|---------------------------|------------------------------------|
| 211. | しもづらめ雪からなる弱層のせん断破壊実験(I) | *福沢卓也, 成田英器, 秋田谷英次(北大・低温研) |
| 212. | 新潟県の災害を伴う雪崩の発生と気象条件 | *岩波 越, 五十嵐高志, 山田 稔(防災科研・長岡) |
| 213. | 縦断地形情報を用いた雪崩の到達距離予測 | *綱木亮介, *藤沢和範(建設省・土木研), 上石 勲(㈱アルゴス) |
| 214. | 傾斜サーマルによる三次元粉雪雪崩の模擬実験 | *福嶋祐介, 早川典生(長岡技大), 備前 亨(秋田県) |
| 215. | ノルウェー・リグフォーンにおける人工雪崩実験(2) | 西村浩一(北大・低温研), 雪崩ダイナミックスワーキンググループ |

10月22日(木)(ポスター発表) 第1部(9時30分~11時30分)

雪崩

- | | | |
|------|---|--|
| 323. | 表層雪崩の発生に関する実験的研究 | 松田益義, *久保田裕士(MTS 雪氷研究所), 島村 誠, 奈良利孝(JR 東日本安全研究所) |
| 324. | 氷球の見かけの反発係数に着目した雪崩の流動機構の検討 | *寺田秀樹, 大浦二郎, 中村良光, 藤沢和範(建設省・土木研), 宮本邦明((財)砂防地すべり技術センター) |
| 325. | 新聞による雪崩の解析 | *矢野勝俊, 土佐林正明, 杉山 透(山形大・理), 沼沢喜一, 山形県博, 長沢一雄(日本地下水開発), 和泉 薫(新潟大・災害研) |
| 326. | 雪崩安全教育の歩み | 新田隆三(森林総研) |
| 327. | 新潟県とその隣接県の90年間の雪崩災害 | *和泉 薫, 小林俊一(新潟大・災害研), 遠藤八十一, 大関義男, 渡辺成雄(森林総研・十日町), 矢野勝俊(山形大・理), 鴻野繁和, 登内道彦(気象協会) |
| 328. | 弱層を含んだ雪のせん断変形と破壊 | 成田英器, 福沢卓也, 前野紀一(北大・低温研) |
| 329. | 1992年5月4日白馬大雪渓で発生した大規模雪崩について(その1)-概要および雪崩の発生状況- | *寺田秀樹, 藤沢和範, 大浦二郎, 中村良光(建設省・土木研), 小川紀一郎, 白杵伸浩(アジア航測) |
| 330. | 1992年5月4日白馬大雪渓で発生した大規模雪崩について(その2)-雪崩の流送および堆積状況- | 寺田秀樹, 藤沢和範, 大浦二郎, 中村良光(建設省・土木研), *小川紀一郎, 白杵伸浩(アジア航測) |
| 331. | 雪崩誘発装置、ガゼックスの効用について | *上石 勲(㈱アルゴス), 飯吉章通(㈱東京倶楽部), 早川典生(長岡技大), 川田邦夫(富山大) |

第3回雪崩対策の基礎技術研修会の報告

雪崩分科会 新田隆三・和泉 薫

さる平成4年4月14日～16日に、日本雪氷学会主催の第3回雪崩対策の基礎技術研修会が新潟県湯沢町において開催されました。第1回、第2回と同様、今回も学会事務局の協力のもとに実行は本雪崩分科会が担当いたしました。計51人の受講生が7人の講師専門家から下記のようなプログラムで2日半にわたる密着指導を受け、好評のうちに終わることができました。受講生は道路・砂防・気象のコンサルタント、スキー場、官公庁、電力会社、JRなど多方面から派遣された技術者・管理者の方々でした。研修会の状況については機関誌「雪氷」54巻2号183～185ページに詳しく紹介してあります。

ここで、今回の研修会開催にご協力下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。今後もより充実した研修会開催に向けてなお一層の努力をする所存でございますので、これからも研修生の派遣、テキストの購入など本事業にご協力下さいますようお願い申し上げます。

—第3回雪崩対策の基礎技術研修会プログラム—

4月14日：開校式

VTR「柵口雪崩災害」「道路防雪施設」etc.

4月15日：講義「降積雪、雪崩の基礎知識」 遠藤八十一

講義「雪崩対策のための山の見方」 町田 誠

講義「行政による雪崩対策」 寺田秀樹

講義「積雪観測法」 和泉 薫・渡辺成雄

講義「スキー場の雪崩対策とその実際」 阿部 勉

懇親会

4月16日：講義「雪崩対策：世界の動向」 新田隆三

現地研修「雪崩対策工現地検討」 阿部 勉・町田 誠

現地研修「積雪断面観測」 和泉 薫・渡辺成雄・遠藤八十一

閉校式

修了証授与 日本雪氷学会副会長 中村 勉

なお、この研修会で使用したテキスト（第3回雪崩対策の基礎技術研修会テキスト、B5判・189頁・送料・税込み5000円）は日本雪氷学会雪崩分科会のベテランが分かりやすく執筆・編集したテキストです。残部は僅かですので入手ご希望の方は日本雪氷学会事務局 XXXXXXXXXX へ早めに申し込み下さい。

研修会参加者名簿

No	氏名	勤務先・役職名
1	シマキ トオル 島田 聡	関西電力(株) 北陸支社 電路課
2	シカ ヒロシ 志方 弘	関西電力(株) 中央送変電建設事務所 送電設計課
3	ヤマギキ ヒデキ 山崎 秀樹	中部電力(株) 中央送変電建設所 設計技術グループ
4	カミキ ヒロキ 上久保博之	中部電力(株) 中央送変電建設所 調査課
5	シムラ ミチ 吉村 光夫	電源開発(株) 関東支社 奥滑津電力所
6	ヤマト カルキ 山本 勝久	東京電力(株) 津南送電所 主任
7	ミヤヅウ カズ 宮沢 一雄	長野県炬川砂防事務所 工務第二係長
8	ノグチ ケイイチ 野々口敬一	長野県飯山建設事務所
9	イトウ ヒロシ 伊藤 仁志	福井県土木部砂防課 傾斜地対策係
10	ナナツ マサト 七沢 正人	新潟県土木部砂防課
11	ナカノ ヨシ 田中 偉夫	新潟県小千谷林業事務所 防災係 技師
12	コノマ カズ 小島 一夫	(社)群馬県林業公社 業務一課主任
13	ワタナベ カズ 渡辺 和夫	能生町役場 建設課長補佐
14	キリノ トシコ 木暮 敏彦	(財)林業土木コンサルタンツ 前橋支所 技師
15	マノ キョウイチ 松野 恭一	(財)林業土木コンサルタンツ 秋田支所 治山課長補佐
16	ミヤコ イキル 宮前 幸晴	(財)林業土木コンサルタンツ 名古屋支所 治山課 課長補佐
17	オノ カズヒコ 堀 和彦	(社)山形県林業コンサルタンツ 治山課 主任
18	ヤブキ オム 矢吹 勉	仙台道路エンジニア(株) 調査設計第一部 主任
19	タケノチ ミチ 武内 道雄	北陸道路エンジニア(株) 日本道路公団 長岡試験室
20	トシノ リョウイチ 友尻 正一	日本道路公団試験所 雪氷対策試験室
21	ネト リョウイチ 根本 良一	日鐵建材工業(株)土木企画開発部
22	シノノ アキル 茂野 明治	(株)文明屋 取締役
23	シノノ アキル 下沢 徹也	アジア航測(株) 防災地質部 防災2課
24	シノノ アキル 雪平 政木	同上
25	ナトウ ヤスシ 内藤 祥志	国土防災技術(株)
26	カネタ マサオ 勘田 益男	東京コンサルタンツ(株) 課長代理
27	ミヤヅウ アサ 宮沢 昭夫	(株)MTS雪氷研究所 コンサルティング部 研究員
28	アサキ ヒデオ 青柳 秀夫	(株)応用気象エンジニアリング
29	イイヨシ アキミ 飯吉 章通	(株)東京倶楽部 エンクイメント & アパランコントロール課
30	マツハシ アキヒコ 松橋 昭彦	同上 クルミンク課
31	タカハシ アツシ 高橋 淳司	同上 コンストラクション課

No	氏名	勤務先・役職名
32	イハシ ミツキ 市橋 光明	(株)アルゴス
33	ナカムラ カズキ 中村 一明	同上
34	サカイ ヒロシ 桜井 宏志	神立高原スキー場 索道課長
35	マエダ マサシ 前田 正史	東急不動産(株)
36	イノエ テオ 工藤 哲男	(株)大糸 企画管理主任 (五竜とおみスキー場いもりゲレンデ)
37	カガ エイジ 川名 英二	東日本旅客鉄道(株)安全研究所 主幹研究員
38	ワタナベ ヒロシ 渡辺 裕	同上 研究員
39	オノヤマ マサキ 奥山 昌樹	東日本旅客鉄道(株)東北地域本社 工務部工事課
40	オノヤマ マサキ 奥山 昌樹	東日本旅客鉄道(株)新潟支社 工務部工事課 主席
41	トヨカ アキヒコ 豊岡 昭博	GALA湯沢スキー場 管理運営部長
42	トヨカ アキヒコ 豊岡 昭博	同上 ゲレンデ管理係長
43	ナカノ マサキ 中島 勝	同上 ゲレンデ管理担当
44	オノヤマ マサキ 奥谷 智博	開発土木研究所 総理府技官
45	ワタナベ カズ 渡辺 和夫	関越総合企画設計(株) 代表取締役
46	キノ アキヒコ 君野 珠宏	(財)日本気象協会 長野センター 技術課
47	ヤシマ アツシ 矢島 篤	同上
48	シノノ アキル 吉田 祐一	同上
49	ホシノ ユキオ 星野 司	苗場スキー場 パトロール主任
50	イケガキ ユキオ 池田 喜久	国際スキー開発(株) 施設課長
51	タカハシ アツシ 高井 一義	神立高原スキー場 ゲレンデ管理課長

講師名簿

講師名	勤務先・役職名
アベ オム 阿部 勉	関越ロードメンテナンス(株) 専務取締役
イノエ カル 和泉 薫	新潟大学積雪地域災害研究センター 助教授
エノケウ ユキオ 遠藤 八十一	農林水産省森林総合研究所 十日町試験地主任
テラタ ヒデキ 寺田 秀樹	建設省土木研究所 急傾斜地崩壊研究室 主任研究員
ニノタ リョウジ 新田 隆三	農林水産省森林総合研究所 森林環境部防災科長
マツダ マコト 町田 誠	町田建設(株) 代表取締役社長
ワタナベ シノブ 渡辺 成雄	元農林水産省林業試験場十日町試験地 主任

1992.9.10

日本雪氷学会雪崩分科会入会の案内

雪崩分科会は雪崩および雪崩災害防止に関する研究と技術の発展に寄与することを目的とし、1986年（昭和61年）に日本雪氷学会の中で分科会活動として承認されました。この分科会では毎年日本雪氷学会全国大会の際に独自の研究・技術情報の交換の場を設定するほか、会員の奉仕により適宜雪崩に関連する諸分野の情報の収集・整理・提供などの事業を展開しています。また日本雪氷学会主催のもとに「雪崩対策の基礎技術研修会」を開催し、実際に雪崩問題に関わっておられる方々への講習活動も行っています。

雪崩の研究者、雪崩関係の仕事に従事しておられる方、またスキー場管理者、山岳関係者等、雪崩一般に関心をお持ちの方は気軽に御入会下さいますよう御案内申し上げます。

日本雪氷学会雪崩分科会会長 新田隆三（森林総研）（1990.10-1992.10）

入会の手続き

* 入会申し込み書に記入して下記宛お送り下さい。

〒930 富山市五福3190 富山大学理学部 川田邦夫（Tel.0764-41-1271）

* 1991～1992年度会費を郵便為替にてお納め下さい。

個人会員 1000円（500円×2年分）（1992年度入会者は500円）

団体会員 2000円（1000円×2年分）（1992年度入会者は1000円）

郵便為替口座名：日本雪氷学会雪崩分科会 口座番号：山形2-10885
領収書が必要な場合には振替用紙の裏にその旨付記するか、会計幹事へお申し出下さい。

会計幹事宛先

国立防災センター新庄雪氷防災研究所
阿部 修

-----切-----リ-----取-----ル-----

入会申し込み書

会 員 名	* 団	宛	先

（*団）の欄には団体会員のみ「団」と記入して下さい。

雪崩分科会活動・研究企画の募集

(雪崩分科会幹事会)

雪崩分科会ではその活動を活性化するため、会員間に関心のある調査・研究課題等について研究会を組織し、より多くの関心ある人達の検討を加えて研究が発展するように願って会合費程度の援助をするようにしています。これまで「雪崩ダイナミクスWG」(代表：前野紀一)が一件採択されています。さらに活発な研究企画の募集を行っていますのでご応募下さい。

応募に関して特にやっかいな規約等はありませんが、その研究企画が大いに推進される内容のものと判断された場合、企画推進の費用として、一件につき5万円程度を分科会の経費から代表者に出します。これらの研究部会への参加は雪崩分科会の全会員に開かれたものとし、一般的情報は適宜ニューズレター等で流すこととします。企画の応募をご希望の方は、形式はありませんが、研究部会名、簡単な目的と内容、代表者名(世話役)等をメモして分科会会長もしくは分科会庶務宛にお知らせ下さい。

“学術賞、遠藤八十一氏に！”

今年度の日本雪氷学会の学術賞に「粘性圧縮理論による表層雪崩の発生予測に関する研究」で遠藤八十一氏が選ばれました。受賞決定おめでとうございます。